

平成 21 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 ステラ・グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 古川 善健
(コード番号8206 大証2部)
問合せ先 総務人事部長 津田 由行
Tel (03) 5425-2511

特別損失の計上および 平成 21 年 2 月期業績予想（個別）修正に関するお知らせ

当社は、現在集計中の平成 21 年 2 月期（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）決算において、下記のとおり特別損失を計上することといたしました。

これに伴い、平成 20 年 8 月 22 日に発表いたしました平成 21 年 2 月期業績予想（個別）を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

なお、当社平成 21 年 2 月期決算（連結・個別）発表は、平成 21 年 4 月 15 日に行う予定です。

記

1. 特別損失の計上の内容

<連結> 貸倒引当金繰入額 91 百万円

当社 100%子会社である株式会社エルメ（以下、「エルメ」という。）は、その収益率向上策として不採算の店舗閉鎖、ならびにオペレーション・コスト等の効率化を考慮した地域商圈戦略の見直しを行っております。現在入居中の店舗（賃借物件）の内閉鎖を予定している店舗において、賃貸人に差し入れた店舗の敷金に関して、賃貸人の財政状態に懸念があると見られることから、差し入れた敷金の今後の回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額の計上を行うことが妥当と判断したものであります。

<個別> 貸倒引当金繰入額 354 百万円

当社において未収入金となっているもののうち回収可能性が低いと判断したもの、および当社から当社 100%子会社であるエルメへ支援として行っている貸付金に対して、貸倒引当金繰入の追加計上を行うものであります。

このうち、エルメについては、昨今の経済環境に対応し、現在進行中の平成 22 年 2 月期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）以降は収益力を向上すべく、平成 21 年 2 月期において、市場規模縮小または不採算になっている店舗の閉鎖をはじめとする経営合理化を行いました。その関係で同社の単体決算において店舗閉鎖損失引当金、上記貸倒引当金繰入額をはじめとする特別損失の計上を余儀なくされたことで、同社の純資産額が減少したことに対して、今後の回復可能性を保守的に検討した結果であります。

2. 平成21年2月期業績予想（個別）の修正

上記特別損失の計上および平成21年3月2日に発表いたしました「投資有価証券評価損および関係会社株式評価損に関するお知らせ」、ならびに最近の当社の動向等を踏まえ、平成20年8月22日に発表いたしました平成21年2月期の業績予想（個別）を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

<平成21年2月期業績予想（個別）>

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
前回発表予想（A） （平成20年8月22日発表）	79	△250	△233	△1,620	△6円75銭
今回修正予想（B）	84	△225	△200	△2,243	△9円67銭
増減額（B－A）	5	25	33	△623	△2円92銭
増減率（％）（B－A）／（A）	6.3	－	－	－	－
前期（平成20年2月期）実績	119	△280	△319	△8,477	△50円28銭

個別業績予想修正の主な要因は、当社の想定を超えた株式市場の下落により、平成21年3月2日に発表いたしました関係会社株式評価損および投資有価証券評価損で合計1,589百万円を計上することになったことに加え、貸倒引当金繰入額502百万円を計上することになったことによります。

3. 今後の見通し

平成21年2月期業績予想（連結）につきましては、現在連結子会社からの決算報告を踏まえ、精査中であり、平成21年2月期業績予想（連結）に修正がある場合には、遅くとも平成21年4月上旬までには発表いたします。

以 上

（注）上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来に関する前提・見通し・計画に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく変化する可能性がありますので、これら業績等の予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。